

## ○ 戦略案に関する御意見や御感想

頁数	パブリックコメントで寄せられた御意見	対応方法、町の考え等
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>「とうえい温泉の施設老朽化・・・」に要因を押し付けていないか？  <b>*他の“イベント”；「スターフォーレスト」「グリーンハウス」の利用者の減少傾向を含めて、要因責任が明示されて然るべきと思料。</b>  <b>当然ながら、施設老朽化の経営的責任(無駄遣い)にも言及する必要を覚えます。</b></li> </ul>	<p>とうえい温泉は、とうえい温泉は、令和1月実績で一日平均556人、年間では約166千人が来場する町内随一の観光集客施設です。そのため観光入込客数の8割強がとうえい温泉の入込客数を占めております。また、これまでの観光入込客数には、学習のための施設であることからスターフォーレスト及びグリーンハウスへの来場者数は含まれておりません。</p>
6	<p>②人の流れづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>“民の動きが活発”としているが、小生の所感とはやや不整合です。  「ふるさと支援隊」を始めとする、任期期限後の定住・起業・結婚となった成果は評価するものの、既存(これまで何10年も住民税等を払ってきた)住民の世帯・家族の引き続きの事業継続、定住(離町・転出防止)とリターンこそが、(小生の)期待値です。</li> </ul>	<p>ここでは、行政内部における自己評価と、外部有識者による総合計画戦略会議において、社会増や子育て世帯の転入、空き物件を活用した飲食店や雑貨販売店等の起業の動きを捉えて民の動きが活発になったとの評価をいただいた点について記載しております。</p>
7	<p>“賑わい”</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「まちづくりに思想を」  <b>*“互助・結”を想起させる記述は大変良いと思います。</b>  <b>*また、“今まで通りの公助”は否定するぐらいで妥当なのかもしれません。</b>  “公助”は勿論、“共助”ですら、所謂「自己負担分(社会保障の割合増も検討中・・・)」という情勢で、タダではサービス受給できない・・・という認識・覚悟の植え付けも必要と考えます。  <b>*また、後半部の「日本をけん引する過疎地域を目指す・・・」文言は、かなり頑張り過ぎの目標の気がします。</b>  町民の“不安”を“鼓舞”するのも、「総合戦略の意義」と把える意図が町民の心に沁みると良いのですが・・・</li> </ul>	<p>本戦略の趣旨を御理解いただき、ありがとうございます。</p> <p>今後、全国の自治体は少子高齢化や人口構成の大きな変化の時代を迎えることとなります。東栄町の今年度4月の高齢化率は49.8%であり、全国的に見てもすでに高い水準になっています。東栄町が、人口減少と少子高齢化時代のまちづくりについて、他の自治体に比べ早く取り組むことは、全国の他の自治体のモデルとなることが大いに予想されます。そうした意味で、全国をけん引するという役割を果たしたい、という思いからこのような記載をしております。</p>
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>“集落カルテ”が、本当に「地域の診断書」として課題抽出記述がなされ、その対処療法提言を行うものになっているか？  不動産屋の“重要事項説明書”様のものであってはならない。  <u>「T型集落点検」として掲げられた事例紹介の様に、“活動として”の事例が積み上げることは、よくなる事例とは思いません。</u>  <b>*「防災に係る情報」は記載項目とし、「未来予想図」に譲る項目を要検討</b>  <b>*「家の位置・世帯の様子」「家族の来町頻度」などは個人情報保護の視点でも要議論！</b></li> </ul>	<p>集落カルテは、正確な情報提供により、地区の現状を知ってもらうことが目的です。その後、こうした情報を踏まえどのような地域づくりを行って行くかについては、御指摘のようにT型集落点検のような取り組みを通じ、積み上げていくことを目指しています。なお、T型集落点検は暮らしのあり方の点検のための一つの事例です。地域ごとに適切な方法を考え取り組むことが重要だと考えます。</p> <p>防災に係る情報については、基本目標4へ記載し、基本目標5では再掲とします。</p>
3・ 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>「society5.0」とは？  唐突に新語が出て来るのも如何なものか？・・・要、欄外説明。</li> </ul>	<p>欄外に注釈を付けます。</p>

29	<p><b>小型ゴミ焼却炉の導入の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本件、西菌目のバイオマス(ガス?)発電プラントの住民動向を勘案すると、容易な事案ではなさそう…。</li> <li>1月9日のNHK「くらし解説」の番組で紹介の事例を視るに、東栄町・行政が単独で事業推進するのは、<u>かなり困難・高負担な事案となることを想定して、地区懇談会等での事前表明・打診の後に記載することを希望します。</u></li> <li>総合計画に“小さく”記載して、免罪符にするのには賛成できません。</li> <li>むしろ、積極的に環境・インフラ対策として訴えるだけの信念が必要な事案と考えます。</li> <li>ヒョットすると、西菌目案件すらその方向性にある事案かもしれません。</li> </ul> <p><b>議会傍聴者数</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>議会の中継放送(予定?)との兼ね合いを想定した指標として提示できていますか？</li> </ul>	<p>日常的なごみ収集や処理については、地区での取組検討を始めたい、という地区もあります。行政が一方向的に決めるのではなく、地区と相談しながら可能な方法を探ることによって、地域にあった暮らしのセーフティネットを構築したいという意図により記載しています。</p> <p>議会のネット配信は、議会への関心を高めることを目的にしており、議会の一般質問の様子を後日配信する予定です。こうした取り組みにより、議会への関心が高まり、一般質問以外の傍聴につながることを見込んで指標設定をしております。</p>
15	<p><b>「まちなかターミナル」について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3. 具体的施策の(1)に“教育”“買い物”“役場”を項目タイトルとしながら、記述の項目は“東栄医療センター”“保健福祉センター”のみ。</li> <li><u>小学校・保育園の集積は済事案です。“買い物”事案は項番(2)に包含して説明するべきでは？</u></li> <li><u>特に、“役場”を特段の説明もなしに(ただのタイトルとは云え)ここに(はめ込み)記述するのは不芳！</u></li> <li>基本的方向に記載されている内容からは、役場を新たに建設するように読み取れる。</li> </ul>	<p>表記を改めます。(第2期総合戦略、14、15ページを修正)</p> <p>ここでは、今ある教育施設や、商店、役場等の機能に加え、医療センターや保健福祉センターが新設されることによって、暮らしに必要な施設や機能が集約された地域ができます。また、おいでん家等の既存の機能が各地域にはあります。今ある機能を最大限に活用するとともに、この二つの地域を活用することによって、町全体の暮らしの利便性を向上させたい、という意図があります。</p>
18	<p><b>「利益を生むイベントへの転換」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「イベント」は事業者にとっては、参加を含め、利活用すべきタイミングでしかない。行政が「イベントを通じた利益」にコミットすることは疑問。</li> <li>むしろ、「イベント」が町外からの人の呼び込みのみに拘らず、<u>町内住民自身も喜び・愉しめることこそ…と期待します。</u></li> <li>前述の「イベントの撤退を含む見直し」も必要…。</li> </ul>	<p>この戦略では、民間が稼ぐ経済と町の賑わいの循環を町全体に広げ、暮らしを支える産業や商業を継続することによって、暮らし続けられるまちの実現を目指しています。</p> <p>事業者がイベントを活用し利益に繋げるためには、イベントの目的、実施方法、役割分担などを関係者が集まり見直しをすることが必要である点は、外部有識者からも助言いただいています。</p> <p>なお、本戦略は、まちづくり基本条例の理念を踏まえ、みんなでまちづくりを行うという考え方を柱の一つにしており、事業の実施主体は行政だけでなく関係する事業者や団体、人等を想定しています。</p>
20	<p><b>「事業継承」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>“金融機関特有の”前向き(?)発言はあるものの…。</li> <li>金融機関の宣伝にも似て(地方銀行の人材会社に国が補助金を出す(中日新聞2.1.6))といった“人材不足”対策にも似た行政支援期待を言い出す場合には“眉唾”で対処することが必要です。</li> <li>人材不足⇒“事業継承”として課題を掲げているが、「一旦の継承」では意味がない！と思料。そもそも事業を一代に亘って継承・成立させるだけのアドバイスは用意できるのでしょうか？</li> <li>しかも、金融機関等のアドバイスはタダではない！</li> </ul>	<p>事業継承については、喫緊の課題であり、相談窓口だけではなく実質的な支援による対応が必要です。そうした支援が可能な専門的な事業者と協働することにより、暮らしを支える産業や商業の事業継続を目指します。</p> <p>なお、町内の金融機関もまちづくりをともに行う町民と捉えられることから、実施主体として記載しています。</p>

	金融機関の営業として自らが、または事業者自らがやる仕事で、町づくりの項目(事業)として、果たして“町”が用意すべきものか？	
その他	<p>「何を発掘するのか・発掘して何をするのか？」(推進会議での議論)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>“気づき”と“町外の人による気づき”に言及していたが、本当に「町外の人」の目に<u>気づきがあるのか？</u></li> </ul> <p>大学や金融機関の(委員の如き?)識者の目・気づきを活用して欲しい・・・発言もあったが、これまでも何度か大学教授やそのゼミの参画した事案・計画・活動があったにも拘らず、成功したという事例の記憶はありません・・・。(免罪符効果ぐらいはあったかも・・・)</p>	町外に暮らす人による東栄町とその他の比較の結果、東栄町への移住や起業等の成果につながっています。そのため、この戦略では比較する視点を活かすことで、さらに地域資源の掘り起こしや再認識をし、そうした町の資源をテーマに利益を生み出すことを目指すものになっています。
16 18 19	<p>「SNS活用」ほか・・・(図表8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新聞利用も SNS 媒体評価も効果・公用の具体的説明はなく(デメリット説明もなく)、言葉遊びの提言でしかない!</li> </ul> <p>「キャッシュレスの普及」は域外顧客向けの事業者には妥当かも。但し、大多数の町民の日常にも、この総合戦略の期間中のターゲットとしても妥当と思われぬ。「利益」の趣旨から考えるとペイペイ等の事業者メリットはあっても、町内事業者にとっては疑問!</p> <p>⇒町外の人のために(だけなら)公金・人材を費消しないこと!</p>	<p>この戦略では、まちの魅力をつくり、民間が稼ぐまちづくりに取り組むことにより、暮らしを支える商業や産業が持続することで、将来にわたって賑わいを保つことを目指しています。稼ぐためには、消費活動を促進する必要があります。そのため、人が流れ集う場所づくりとして、医療センター等の機能集積をする地区を中心に経済と賑わいが循環し、人が訪れる地区としてまちなかターミナルを形成します。</p> <p>こうした消費の場や公共交通網の維持には、一定の利用者が必要です。利用者確保のため、外部人材を活用することで、町民の利便性が維持されると考えており、域外顧客向けの取り組みも必要と考えています。</p> <p>また、SNSの活用はその収益により活用団体の自立にも繋がります。こうした方法を活用しながら、民間が稼ぐまちづくりに取り組みます。</p>
20 21	<p><b>事例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「東栄町の人つながりの良さ」を言う一方、⇒前述、“(住み続ける)既存住民”に配慮した施策が見えない。</li> </ul> <p>「移住ソムリエ」の資質認定の評価はどうなっているのか？</p> <p>「移住ソムリエ」に後述“集落カルテ”なる地域情報開示するに当っては十二分なる留意を要望します。</p> <p>「緩やかな人と人とのつながり」を“この町の魅力の一つ”として説明があるが、<u>地域に根付いて住んでもらうための要件が“緩やか”であって良いのか？</u>「地域の生活・文化」を始めとする“絆”の持続性にとって必ずしも好影響を来すものとは思われません。</p> <p>※(P7)「まちづくりに思想を」の2行目、「人と人とのつながりが密接であり」と不整合!</p>	<p>表現が分かりづらいため、修正します。(第2期総合戦略、23ページを修正)</p> <p>「人つながり」については、段階や場面に応じてその度合いも異なると考えています。地域で暮らす人が、暮らしに関する情報提供や地域の人への顔つなぎ等、東栄町に興味のある人や移住希望者に自発的に関わる人を、移住ソムリエとして認定しています。制度で活動を縛る意味合いのものではありません。ただ、多様な人と人とのつながりを経て、この地域への移住を決めている事例は多々あります。こうした自発的な行動こそが、まちづくり基本条例の理念と合致するものであり、みんなで進めるまちづくりの一つと言えます。</p>
その他	① 役場・行政に求めることが多い。自助はさておき、“互助”関連の項目が少ないように思います。	<p>これまでの計画や戦略には、主体が明記されることはほとんどありませんでした。この戦略案では、多くの事業例について行政だけでなく、住民や関係機関とともに進めていくことを前提に、実施主体に記載をしております。街づくりには行政の果たす役割が大きくなりますが、行政のみで丸抱えすることなく、関係者間での役割分担などを明確にし、効率的な実施につなげるよう留意します。</p> <p>また、互助については、来年度策定する総合計画後期計画の中多く記載される予定です。</p>
	② “断捨離”を云う事案も少ない(無い!) ・・・コンパクト化とダウンサイジングの違いの認識の醸成を!	来年度策定する総合計画後期計画や、公共施設管理計画個別計画において、施策統合による効率化等、検討する予定です。

	③ (P22)「合計特殊出生率・出生率の“向上”」といった目的は、「住環境づくり・まちづくり」とはマッチしていない気がします。	大人数の子どもを育てる家庭が、部屋の数や広さを求めて都会から田舎に移住する例があり、良質な住環境等の提供は出生率へ影響するのではないか、との考えから設定しています。
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>「東三河懇話会」記事(中日新聞2. 1. 10)から各市町村に「観光」というキーワードが多いのが気になります。東栄町としては「観光まちづくり協会」の活動に委ねて十分とすべき。イベントも「花祭」は当然として、絆プロジェクト・チェンソーアート大会・星空おんがく祭・ホテルのさんぽ道・東栄フェスティバル・東栄マラソン(愛知県の駅伝を含む)ぐらいでもう十(二)分と思料。        ……1ヶ月おきに何かある        もうそろそろ、撤退の事案も俎上に挙げる時期では…？  <u>地域連携案件と称して、巻き込まれる“負担”事案には要注意です。</u></li> </ul>	観光まちづくり協会の活動の強化と合わせて、各種イベントの効率化を働きかけます。(第2期総合戦略、20ページに追記)
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「SDGsの実施指針」は日本が(令和2年)2030年までに…        “令和12年”の間違いです…</li> </ul>	修正します。(第2期総合戦略、4ページを修正)
3・12	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の基本目標の理解はさておき、「町の基本目標②」については「民間が稼ぐまちづくり」(P11)を組み込んでおくべき。</li> </ul>	追加します。(第2期総合戦略、12ページを修正)
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>図表20「将来人口ピラミッド」の“理想形”とは？        「年代ごとに大きな差のある年齢構成から、大きな差のない年齢構成を目指します」との説明は、妥当な方向づけ・理想形なのでしょうか？        「年代ごとに大きな差のある年齢構成か、大きな差のない年齢構成を目指します。」という文章及び図表3将来の人口ピラミッドの理想形の意図が分かりづらい。</li> </ul>	地域運営をするにあたっては、地域の担い手の確保が必要です。年代ごとに大きな差のない年齢構成であれば、地域の担い手の変動が少なくなり、持続可能な地域運営が可能になるとの考え方です。
5・18	<ul style="list-style-type: none"> <li>「2018年度の観光入込客数」が“193,080”と“199,414”と異なるのは？</li> </ul>	199,414人の誤りでしたので修正します。(第2期総合戦略、5ページを修正)
25	<b>事例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「…文化祭で保護者や町に人に向け…」は？        町に人⇒町民に？</li> </ul>	修正します。(第2期総合戦略、27ページを修正)
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>GISとは？</li> </ul> <b>「土地利用計画の策定」について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標4「まちの未来図づくり」の項番2.「土地利用計画」が掲載されているが、やや唐突では？(推進会議での議論にはなかった)        西園目地区のコンポスト(バイオガス)発電施設の件に伴って、事後ながら、今後の対策として“土地利用規制”を打ち出そうと考えているのでしょうか？        東栄町が、産業活性化の施策として企業誘致を命題(第6次東栄町総合計画)としている場合、規制が必ずしも“まちづくり”に資するものとはならないので、慎重な審議、意見聴取をお願いします</li> </ul>	欄外に注釈を付けます。(第2期総合戦略、29ページに追記)
		この戦略では、3つの指標を掲げています。そのうちの 하나가、土地の価値の維持・向上です。地価の価値の下落により、土地の利活用が考えにくくなると、町の将来が見通せなくなります。将来にわたって賑わいを保ち続けるまちを実現にするにあたっては、町のビジョンの可視化と共有が必要です。また企業誘致についても、暮らしとの協調が必須です。そうした点からも具体的な土地利用計画の必要性が高まっていることから計画策定について記載しています。ただし、個人の権利や暮らしと密接に関係するものであることから、住民の皆さんや関係者と共に検討を進めるもので

	す。	す。また、 なお、この戦略は、推進会議での議論はもちろんのこと、これまでの行政運営やまちづくりに対しいただいた御意見等を踏まえ策定しています。
24	<ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の議会一般質問では、「ICTの積極的利活用による教育の充実」に関する教育問題への質疑はなく、また戦略推進会議でも議論はなかった。 「パソコンで学力テストの回答を入力させる」由の検討もある一方、パソコンの配備の補助は1台4万5千円を上限・通信環境や通信費は自治体持ち、保守管理は誰がやるのか？（先生たち？） 保育園舎の日陰や通学路の土砂崩れも大切、いじめ件数や不登校児童数も問題ではあるが、小生から見ればいずれも些末・・・ 総合戦略である以上、（北設情報システムの是非を含む）通信環境整備と教員支援は必須検討課題と思料します。特に、現行政策では“自治体予算”を当てにしたものであり、峰野県議や今枝議員への打診・陳情を暗示する文案が必要と考えます。 期限は2020年開始、2023年まで・・・の由です。</li> </ul>	教育については、子育て世代にとって特に重要な分野です。教育環境の格差は子育て世帯の暮らす場所の選択に大きく影響を与えます。そうした点からも、取組みが必要であることから、このような記載となっています。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の若者は役場職員が多い。役場の給料も安い。国の副業解禁を活用してはどうか。</li> </ul>	地域の活性化につながるもの等について、活用を検討していますので、その点記載します。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼ぐまちづくりの基本となる、観光について具体的柱を明記してはどうか。</li> </ul>	観光は産業である点を明確にするとともに、本戦略を観光基本計画として位置付けます。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>和太鼓絆等、プロである民間事業者がいるにも関わらず行政で行うことのメリットや効果が見えにくい。今のやり方では、民間事業者も本来の力を発揮できずもったいない。民間事業者にきちんと任せるべき。</li> </ul>	御意見として承ります。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通施策については、生活圏である新城市との連携を視野に入れてはどうか？</li> </ul>	現在は、北設楽郡3町村で取り組みを行っていますが、御指摘のとおり、高校などへの通学や通院等の暮らしを支えるという点において、今後の連携に関する検討が必要だと感じていることから、文言の追加をします。（第2期総合戦略、17ページに追記）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなかを気軽に移動できるものがあれば、便利だと思う。</li> </ul>	国においても、今後の自動運転サービスに関する研究や検討等が急速に進められています。こうした動きを的確に捉え、近隣の自治体と連携しながら検討していく必要があるため、文言の追加をします。（第2期総合戦略、17ページに追記）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境を守るためのきまりがない。将来にわたって、というなら、今ある環境を自分たちの手で守るためのルールが必要ではないか。</li> </ul>	追加します。（第2期総合戦略、33ページに追記）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>出生数を増やすための具体的な事業の例がない。赤ちゃんが生まれた世帯への具体的な支援が欲しい。</li> </ul>	既存事業も含め、今後検討します。（第2期総合戦略、25ページに追記）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>外の人に来てもらうには、情報発信が重要だと思う。時代に取り残されないように、きちんと目標を立てて取り組むとよい。</li> </ul>	重要業績指標に追加します。（第2期総合戦略、20ページに追記）

<p>町の医療・介護の具体的な政策・総括がない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私は、「暮らしやすい町」「次世代に繋げる」「賑わいを保ち続ける」という言葉を実質的に担保するには、第一に、町民の命と健康・活力を支える「東栄医療センター」や「地域包括支援センター」、さらには「訪問看護ステーション」などの戦略が不可欠だと考えます。</li> <li>その点で、新たな「総合戦略」案には、医療・介護といった町の住民福祉課所管の分野の具体的な方針・目標が、ほとんどありません(15ページの「医療・教育・買い物・役場等の機能が集まる地区の誕生」のみ?)。ぜひ、具体的な補完・修正をお願いします。</li> <li>今回の総合戦略の策定にあたっては「第2期では、第1期の方向性を継続し、より一層の充実・強化を図る」とのことですので、第1期との整合性も必要です。医療・介護については、第1期の戦略は「基本目標⑤ 暮らしの安全を支える地域づくり」として「郡内唯一の総合的病院である東栄病院の機能充実」「(東栄病院・下川診療所の)2機関を維持」と明記されていました。</li> <li>村上町政の5年間、町の医療・介護はどうなったでしょうか。</li> <li>町は、東栄病院を廃止し、今後、入院ベッド・透析施設を廃止する方針です。町民にとって最も重要な、命と暮らしを支える大きなインフラが失われようとしています。昨年末、透析の継続を求める署名には、町民の3分の1がサインしました。町は、医療の縮小による影響について、正面から分析し、その結果を町民に示すべきです。</li> <li>また夜間診療・救急診療の中止により、町内の救急搬送の件数は増えています。町外の病院への搬送には時間がかかり、死に至る確率も増えるでしょう。町外の病院での入院・通院は、患者本人だけでなく家族にも大きな負担となります。</li> <li>私が、町内でみなさんから話を伺いますと「入院ベッドを残してほしい」「透析は維持してほしい」「医療の崩壊は町の崩壊だ」「高齢者の割合は5割で維持される。高齢者福祉の政策をしっかりと位置づけてほしい」と言われます。</li> <li>町は、第1期の戦略の到達・総括・教訓(例えば第1期の戦略31・32ページの「重要業績指数」の結果)など、きちんと町民に説明しなければならないと思います。現実と正面から向き合わない、新たな戦略の公表は、自治体としての信頼を損ないます。今回の第2期は、まだ作成中とのことなので、ぜひ補完・修正していただきたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度に東栄町地域包括ケア推進計画(第9期高齢者福祉計画)の策定を予定しています。東栄町総合計画の後期計画と整合を図りながら施策等を位置付けていきたいと考えています。</li> <li>総合戦略の策定された平成27年度以降、東栄病院・下川診療所の2つの医療機関の状況は、過疎高齢化による人口減少に伴う患者数の減少、医師・看護師等の不足などにより、厳しい状況が続いています。医療水準をできる限り維持するため、平成30年度から東栄病院の運営を指定管理から直営に戻し、現在に至っています。 また、平成30年度3月には「東栄町地域包括ケア推進計画(第8期高齢者福祉計画)」平成30年度～令和2年度及び「東栄医療センター(仮称)等施設整備基本構想・基本計画」を策定し、できる限りの医療、介護を計画に基づいて進めていますが、人工透析中止を余儀なくされたように、今後も想定されない事態が起こることも考えられます。 第2期の総合戦略については、上記の2つの計画と整合性を取り盛り込まれたものであることをご理解いただければと思います。</li> <li>来年度に東栄町地域包括ケア推進計画(第9期高齢者福祉計画)の策定を予定しています。東栄町総合計画の後期計画及び東三河広域連合で策定される介護保険事業計画と整合性を計りながら高齢者福祉施策を位置付けていきたいと考えています。</li> <li>事業ごとの重要業績指標については、事業数が多い事から本戦略には掲載していませんが、今年度開催した総合計画戦略会議において、資料として配布しており、現在議事録と合わせて、町ホームページにも掲載しております。</li> </ul>
<p>町内の経済・暮らしを支えてきた既存店への個別の応援策を。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「第2期東栄町まち・ひと・しごと創生総合戦略」案の20ページに、「賑わいのための事業者確保」「①事業継続への支援」の項目があります。町は、将来、町内の事業者数を30減と見込んでいますが、具体的な政策は「検討」「相談体制の整備」にとどまっており、説得力がありません。ちなみに18年度の事業者数は、前回2020年の重要業績指標224を下回っています。「1、」にも関連しますが、せめて、昨年9月の第1回総合計画戦略会議における岩崎正弥愛大教授が指摘した町内の事業者の「介護(前)倒産・廃業」を、どのように防ぐのか、ぜひ、町の具体的な対応策を書き込んでほしいと思います。</li> <li>私は、東栄町の経済と暮らしを、長年、支えてきた既存の事業者への深い敬意をもっています。日々たいへんな苦勞をされています。第1期の戦略では、「既存事業者の流出防止」の項を立てて、地元優先の発注・雇用がうたわれていました。また重点戦略として「補助制度の拡充」も明記</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度に東栄町地域包括ケア推進計画(第9期高齢者福祉計画)の策定を予定しています。東栄町総合計画の後期計画及び東三河広域連合で策定される介護保険事業計画と整合性を計りながら高齢者福祉施策を位置付けていきたいと考えています。</li> <li>第1期のように既存事業者の流出という項目はありませんが、20ページに「(2)賑わいのための事業者確保 ①事業継続への支援」の記載があり、既存事業者への対応も記載されています。なお、第1期総合戦略に記載されていた「商工業振興対策</li> </ul>

	<p>されています。しかし第2期の戦略案は、既存の事業者より新規(町外)の起業者を柱にしている印象があり、バランスを欠いています。私は、既存店への個別の応援策がなければ、町の賑わいは保てないと確信しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>また一方で、第2期の戦略案は、企業誘致の項目を廃し、法人企業数の目標値もなくなっています。「第1期の方向性を継続」するのか、企業誘致の取り組みをしないのか、読んでいる者には判別できないのでぜひ説明を加えてください。</li> </ul>	<p>事業」は商工会が発行する「カニさんシール」事業運営等の商工会への補助で、現在カニさんシールは廃止されています。その代替事業である商工会が発行する商品券等に対する「地域振興対策事業補助金」事業等があります。また、小規模事業者の方によく活用されている「商工業振興資金預託金」事業も引き続き実施するものです。こうした既存事業者の事業継続等を支援するための仕組みの実施について追記します。(第2期総合戦略、22ページに追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三遠南信自動車道東栄 IC の鳳来峡 IC 接続を見据え、企業誘致の取り組み自体は継続して実施します。しかし、企業誘致の主な対象である工場等の第2次産業を誘致する場合、東栄町では工場立地に適した土地が少ないこと、人口減少により勤務する労働力が不足していることなどを企業から指摘され苦戦しています。一方で、東栄町では飲食店など新規の起業が続くなど、他の過疎地の市町村には見られない特徴もあります。こうした東栄町の特徴を活かして東栄町での職を確保することを第2期の総合戦略の特色としています。なお、企業誘致については、20ページ「(1)商業や産業が「利益」を生み出すための戦略的な繋がり」の中に、追記します。(第2期総合戦略、20ページに追記)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>町は「民間が稼ぐまちづくり」「町民所得の県内最下位を脱出」と言うが、町の人口の5割が高齢者(65歳以上)であること、多くが月額5万～6万円の国民年金収入で暮らしている現実を踏まえた政策をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年10月から高齢者を含む町民で就労の意思のある方には「特定地方公共団体無料職業紹介事業」により、職を斡旋し、働ける環境の整備を行っています。(第2期総合戦略、23ページに追記)</li> <li>なお、働くことができず、生活が苦しい方へには、福祉分野で支援するため、次年度策定の総合計画での対応となります。</li> </ul>
	<p>町の人口の分析については、現実的な目標設定を。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「第2期東栄町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の案では、「出生率は長期下落傾向が止まっていない」(6ページ)と分析しながらも、「東栄町人口ビジョン」案では、10年後の出生率は「国の目標水準1.8」を採用し、極めて楽観的な数値だと思います。第1期は、国立社会保障・人口問題研究所の推計値を示しています。なぜ、町が今回、国の目標を優先したのか、その理由を明記してほしいと思います。特段の理由がなければ前回と同様の推計値を継続して用いるべきです。</li> <li>「1、」とも関係しますが、東栄医療センターの夜間診療・救急診療・入院の廃止は、第2子・第3子をのぞむ世帯にも大きな打撃になると思います。いわゆる「長野県下條村の奇跡」の背景には、産婦人科医院・小児科を含む医療機関が近隣にあることも、あわせて指摘いたします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1期の人口ビジョンでは、将来人口推計において2030年からの出生率を国の目標と整合させるため1.8、2040年から2.0を使用しており、変更はありません。(『東栄町人口ビジョン』平成28年3月、20ページに記載あり。)</li> <li>なお、合計特殊出生率については、平成27年の実績は1.59であり、将来推計のために見込んで1.54とほぼ同じ数値となっております。</li> <li>また、国立社会保障人口問題研究所の調査では、平成22年国勢調査時点よりも、平成27年国勢調査時点において、30～40歳代の出生率実績が上昇しているとの報告もあります。こうした点から、第1期と同様の合計特殊出生率を用いています。</li> </ul>
	<p>最後に、情報公開の推進、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後に、昨年11月12日の外部有識者による行政評価(現時点では議事録が公開されていないと思います)では、岩崎正弥愛大教授から「町民がオーナーだというならば、町民にとってよくない情報でも隠さず明らかにして共有を」との提言がされていました。しかし町は、町内の悪臭の臭気指数を、1年間、非公開としていました。各種の議事録作成にも時間がかかり過ぎだと思います。前回の「人口ビジョン」の巻末には各種アンケートの結果が記載されていますが、今回の案にはありません。さらに、町民への説明の不足(今年2月11日の「まちづくり座談会」で、町長の総合戦略の説明が10分、質疑がわずか5分!)も大問題です。ぜひ、「まちづくり条例」にもとづく情報公開の推進、町民の意見に向き合う開かれた町政に変わっていただきたいと思います。</li> </ul>	<p>臭気指数の初回の情報公開請求時には、当該事業者は臭気排出改善のための施設改修計画に基づき改修工事を行っている途中であったため、改修前に測定した数値については非公開との判断をしました。改修工事が完了し、問題なく稼働できることが確認できたところで、あらためて臭気指数測定を実施し、その後の公開請求に対し、測定結果の数値について全て公開することとしました。</p> <p>まちづくり座談会は、住民の方々とともに作ったまちづくり基本条例の浸透を目的に、今年度で3回目を迎えるものでした。まちづくりは、住民・議会・行政の三者が相互の役割を理解し協力し合って進めることを目指す、という条例の考え方から、座</p>

		談会では様々な立場の参加者同士が意見交換する機会も重要と捉えています。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11ページの図→川角を追加</li> <li>・ 振草→小林・上粟代・下粟代・古戸</li> <li>・ 地域の地名を大切にしていきたいです。</li> </ul>	現在の予約バス制度と整合性を図りながら修正します。
	<p><b>東栄駅のさみしさ改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームなどにのぼりを立てる 例えば“星ふる町東栄町”“チェンソーアートの町”など。</li> <li>・ 月に1度ぐらい駅にお弁当を売る 東栄町特産品を仕様 ※東栄チキン、フキ、タラ等 ⇒JR 豊橋駅などでPR。各駅停車時もPRしていただく。</li> <li>・ 駅の周りに桜の木を植える。モクレン、レンギョウ、サツキなど。</li> <li>・ ベンチを増やす</li> <li>・ 定住が難しいので、四季折々で観光客を呼び込む。(参加実費徴収) 春・・・山菜取り 夏・・・川遊び・キャンプ 秋・・・キャンプ・バーベキュー(星を見る) 冬・・・餅つき・五平餅づくりなど キャンプ地としての場所、廃校の跡地などを利用していただく。</li> <li>・ 東栄町の物産をネットなどで(セットにして)売り込む。 山菜、しいたけ、・・・等 猪肉、鹿肉、葉物(料亭など必要としている)など。</li> <li>・ 山、低い山をウォーキングできるように整備する。</li> <li>・ 空気良し、水良し、星を見ながらこの地で最期を迎えるために老人専用、もしくは医療ホームを作る。(県内外の方も受け入れること) <u>この静かな地で残りの人生を穏やかに過ごしていきたい。</u> 雇用も増える、また1階に誰でも利用できる食堂を作る。(お弁当の宅配が要らなくなるかも) 惣菜が買えるようにする。</li> <li>・ 高齢者の町であることをもっとPRする。 ⇒元気である、知恵がある、不便である！でものんびりと暮らせる。</li> <li>・ 空き家・・・企業などが利用できるようにする(短期、長期どちらでも) 花祭の時空き家を利用していただく。1泊〇〇〇〇円とか。</li> </ul>	御意見として承ります。実施にあたり、担い手、財源といった点で課題を抱えている点を御理解ください。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スtockヤードの成果を知らせる 業者に出していると思うが、1か月の利益を公表する。するとどのくらい効果があるのか町民が分かり、リサイクルする気が起きる。(今月は〇〇〇円とか)来月も頑張りましょうとお伝えできます。どうして出さないといけないのか分からない！お金になることを教える。</li> </ul>	次年度策定する総合計画での対応になりますが、公表に向けて検討しています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>他県、他市の良い所を真似する。どんどん取り入れる。</li> </ul>	御意見として承ります。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>町役場職員の意見を聞くのではなく町民の意見を聞く！</li> <li>町職員が多すぎ。ムダ。</li> </ul>	まちづくり基本条例の理念に基づき、住民・議会・行政で協力してまちづくりをすすめます。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前、私は電験三種、ボイラー、危険物、冷凍機など、資格があります。以前とうえい温泉の構図（設備など、パイプ・・・）を見たことがあります。ありえないと思うようなことでした。くわしくは言えませんが、どこの業者か分かりませんが、信じられないということでした。だからよく故障するのかな？責任を持って設備の責任を持っていただく。出来なければ業者を変える！</li> </ul>	故障の原因については施設建設から17年以上経過したことによる設備の老朽化に起因するものです。突然の故障による臨時休業が少なくなるよう修繕計画を作成し、その計画に基づき施設の改修を行っています。施設改善に向けた具体的な御意見があれば、経済課へお寄せください。
	<b>防災について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害が起きた場合、自分の身は自分で守ることが基本。最低でも2週間分の食料は必ず確保してくださいと伝える。この山間部、救助の手が遅くなるのは確実です。必ず準備をしておいてください。ガス、水、電気はストップすると思って支度をしておいていただくこと。</li> <li>町に頼っても無理だと伝える。実際にその通りだと思ふ。災害は忘れた頃にやってきます。今、備えてほしい。</li> </ul>	来年度策定の総合計画で対応します。
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>東栄町の移住定住が全国的に見ても高い成果を出している点について、より強調するとよい。</li> </ul>	ありがとうございます。
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民主体の考え方に基づく次世代につながるまちづくりについて、実際にどのように実現するのが重要。言葉だけの上滑りにならないように。</li> </ul>	今後も様々な場面において、まちづくり基本条例の理念の浸透を進めて行きます。
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちなかターミナルとは何か。定義を知りたい。</li> </ul>	医療・教育・買い物・金融機関・役場等が集まっている地区全体と、バス乗降の利便性を組み合わせた場所を「まちなかターミナル」を呼びます。具体的なイメージは、第2期総合戦略、14ページの図表6のとおりです。
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事業の例にある、町内産業を支える介護等のあり方の検討、仕組みづくりとは具体的に何を指すのか。町内の介護サービス施設のことなのか、そうではないのかが分からない。</li> </ul>	家族経営等の小規模事業者の暮らしを支えることが目的ですので、修正します。（第2期総合戦略、22ページを修正）
22	<ul style="list-style-type: none"> <li>保小中の連携教育については、たいへん良い取り組み。また、暮らしの中に世代間交流がある点は東栄町の誇るべき点であり、アピールが必要では。</li> </ul>	世代間交流については、追記させていただきます。（第2期総合戦略、24ページに追記）
パブコメ以外		
委員聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教育は時代の流れであり乗り遅れることはできないが、子育てや教育において何よりも重要なのは、この地域の良さを活かした連携教育を町全体で進めること。「人としての土台」を作ることが何よりも大切。そうした取り組みが可能なのは、この地域だからこそ。</li> </ul>	教育格差の是正の観点で踏まえつつ、連携教育の重要性を強調するような記載をします。（第2期総合戦略、22ページを修正）
委員聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>移動販売事業については、回る場所が多く、車両の老朽化や雨天時の非効率、利益の出にくい事業になっている。本来の買い物困難者への宅配に絞るなど、人や物(商品)によって取扱い恩住み分けをしてはどうか。また、宅配については郵便局や生協などとの連携についても検討していけないか。</li> </ul>	具体的な検討が始められるよう、明確にこの戦略に位置づけをします。（第2期総合戦略、33ページに追記）
委員聞き取り	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベントは職員の負担が大きい。行政は他にやるべきことがある中で、丸抱えでイベントを行うのはどうか。星空実行委員会のように、実質的な実行委員会や民間事業者が明確な目的を持ってやる方がよいのでは。</li> </ul>	イベントの目的や効果を明確にして取り組むことの必要性については、これまでの外部有識者による評価からも明らかになっています。この戦略では、「まちの魅力づくり 民間が稼ぐまちづくり」の基本目標の中で、「利益」を生み出すためのイベントへの転換に取り組むことを目指します。（第2期総合戦略、20ページに追記）

川信	・ ビジネスマッチングなど連携できる点がある。(第 1・2 回推進会議より)	追加します。(第 2 期総合戦略、22・23 ページに追記)
----	--	--------------------------------